

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【公開番号】特開 2006-111161(P2006-111161A)

【公開日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報 2006-017

【出願番号】特願 2004-301538(P2004-301538)

【国際特許分類】

B 6 0 K 20/02 (2006.01)

B 6 0 K 20/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 K 20/02 E

B 6 0 K 20/00 D

B 6 0 K 20/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 9】

保持機構 2 5 は、搭乗運転部 5 における変速ペダル 1 9 の前方に、左右向きの支軸 4 6 を支点にした揺動操作が可能となるように配備した左右の両ブレーキペダル 4 7 , 4 8 の踏み込み操作が行われた制動減速時に、速度設定レバー 2 4 の摩擦保持を解除するように、左右のブレーキペダル 4 7 , 4 8 に解除連係機構 4 9 を介して操作連係されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

以上の構成から、左右向きの回転軸 2 7 を支点にして、速度設定レバー 2 4 を、退避位置からその前進増速操作方向である前方に備えた前進速度設定領域に揺動操作すると、操作部材 2 6 の係合凹部 2 6 A が、補助揺動部材 3 2 の他方の遊端に係合して、中継揺動部材 3 0 に対する補助揺動部材 3 2 の揺動変位を阻止するようになり、これによって、速度設定レバー 2 4 を、前進速度設定領域において揺動操作すると、操作部材 2 6 が、その前進速度設定領域での速度設定レバー 2 4 の操作位置に応じた操作量で、補助揺動部材 3 2 を介して、中継揺動部材 3 0 をガイド孔 2 8 A の前進変速用ガイド部 2 8 a に沿って押圧揺動させるようになり、このときの中継揺動部材 3 0 の揺動操作量に応じた操作量で、静油圧式無段変速装置 7 が前進変速操作され、このときの前進変速状態が、保持機構 2 5 による速度設定レバー 2 4 の摩擦保持で維持され、結果、速度設定レバー 2 4 の操作位置に応じた前進速度で車体を走行させることができる。